

地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します

見~つけた!

地域の活動



Vol.18

2018年1月発行

「地域で子どもを見守り育てる」

カツラ山団地のクリスマス交流会



今月の地域のいきいき活動は、12月23日にカツラ山団地で行われたクリスマス交流会の様子を紹介します。

カツラ山団地は、古くからある住宅街にニュータウンが加わった閑静な住宅街です。ニュータウンには子育て世帯が多いため、地区健康福祉委員会が主体的に通学路の見守りを行っています。ニュータウンがゆえに近隣同士の付き合いが希薄であるという課題を抱えています。また、子どもたちが通う小学校もバラバラであるため、「地域で顔と顔が見える関係を作りたい」「違う学校に通っていても近所同士仲良くしてもらいたい」という地区健康福祉委員会や保護者らの思いから、今回のクリスマス交流会が実現しました。

人間関係の希薄化は、核家族化や価値観の多様化、他人への関心の薄さなどが原因ではないかと言われています。あらゆる世代の人と人が繋がるきっかけとなったこの交流会に参加し、地域のつながりを深め、地域で子どもを見守り育てるといふ連帯意識の高まりを感じました。

当日は、1歳から80代まで約50人の地域住民が集まり世代を超えたクリスマス交流会が和やかな雰囲気のもと始まりました。

昼食のサンドイッチや焼きそばは、健康福祉委員会の女性メンバーと子どもたちのお母さんが協力して作ったもので、サンタクロースからのお菓子のプレゼントやわなげ大会、ビンゴゲームなど楽しい一日となりました。

